

通学路防犯カメラが設置されました！

3月16日（月曜日）午前10時30分から、区立三谷公園（上井草3-12-10）で、子どもたちを犯罪から守る通学路防犯カメラの設置を記念した式典が開催され、警察や防犯団体、学校関係者、地域住民など約120名が参加しました。

区では、平成16年7月1日に「杉並区防犯カメラの設置及び利用に関する条例」を施行。この間、区内には、現在、2,693台が設置されています。防犯カメラは、設置すること自体で犯罪抑止の効果があり、条例施行以降、刑法犯認知件数は4割減少（平成16年8,994件→平成26年5,248件）するとともに、近所に防犯カメラが設置されたことによって、地域住民の防犯意識が高まり、自主的な防犯活動が活発に行われるようになっていきます。



しかし、川崎市の中学1年の生徒が命を奪われる事件など、全国で児童・生徒が被害に遭う事件・事故が相次いできました。そこで、杉並区では、学校と地域が連携して行う登下校時の見守り活動とともに、子供の通学時の安全確保を図ることを目的に、「東京都通学路防犯設備整備事業補助金」を活用して、今年度から4年間で全区立小学校41校の通学路に防犯カメラを設置することとしました。今年度については、6校に30台設置しました。

三谷小学校でも、通学区域の中に5台の防犯カメラが設置され、本日の「通学路防犯カメラ設置記念式典」の実施となりました。式典には、区立三谷小学校のPTA代表として、内田由紀さんが、『子ども見守り宣言』を発表しました。宣言は、通学路に設置された防犯カメラとともに、PTAが地域の住民と一緒に、子どもたちの登下校の安全を見守ることが記されています。式典には、警察、PTAのほか、子どもたちの安全を守りたいと思い日頃から安全パトロールなどを行っている地域住民など120名ほどが参加し、この防犯カメラの設置を機会に、さらに見守りの強化と地域の結束を確認しました。



【報道機関問合せ先】

危機管理室地域安全担当：TEL 3312-2111（内線）1582